

# Cisco CallManager 5.x および 6.x : 識別名による Active Directory LDAP 認証が失敗する

## 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[背景説明](#)

[問題](#)

[解決策](#)

[関連情報](#)

## 概要

Cisco Unified CallManager 5.x および 6.x の Active Directory ( AD ) Lightweight Directory Access Protocol ( LDAP ) 接続を統合試みの間に LDAP 認証は `ldap:// < IP` と失敗します: `no>` LDAP Password 。 このドキュメントでは、これらの問題をトラブルシューティングする方法を説明します。

## 前提条件

### 要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

### 使用するコンポーネント

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco Unified CallManager 5.x および 6x
- Microsoft Active Directory

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな ( デフォルト ) 設定で作業を開始しています。 ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

## 表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

## 背景説明

問題を解決する前に、Cisco CallManager サーバでこれをチェックして下さい:

- **統一された OS 管理 > Services > PING** を『Cisco』を選択し、AD サーバを ping できることを確かめて下さい。
- **システム > LDAP > LDAP システム**を選択し、**LDAPサーバから同期するイネーブルがチェックされ、LDAPの値が Microsoft Active Directory**であることを確かめて下さい。

## 問題

LDAP ディレクトリ オプションの Cisco CallManager サーバの Active Directory ( AD ) LDAP を設定することを試みるときに LDAP認証は `ldap:// < IP` と失敗します: `no> LDAP Password` 。

## 解決策

この問題は LDAP ディレクトリ設定で間違った LDAP マネージャ識別名を使用すると発生します。

- LDAP マネージャ識別名が完全な標準名が含まれていることを確かめて下さい。たとえば、`-cn=Administrator、dc=ciscoas dc=static、ou=Static` ドメイン ユーザ `dc=ad`。識別名を設定する方法に関するおよびガイドライン詳細については <http://msdn2.microsoft.com/en-us/library/aa366101.aspx> を参照して下さい。
- LDAP マネージャ識別名に関しては、128 文字まで、LDAP ディレクトリにアクセス権がある管理上のユーザである LDAP マネージャのものである場合もあるユーザ ID を入力する必要があります。詳細については [LDAP 同期](#)を参照して下さい。

## 関連情報

- [LDAP ディレクトリ統合](#)
- [音声に関する技術サポート](#)
- [音声とユニファイド コミュニケーションに関する製品サポート](#)
- [Cisco IP Telephony のトラブルシューティング](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)